



## 万羽鶴・感謝の桜プロジェクト

## いわき市立内郷第一中学校



どこまで進んだかな。  
がんばるぞー。

私たちの気持ち届いてほしい。

私たちの気持ちを受け取ってください。

差別や偏見をなくしたい。  
がんばってください。



本校は、「自主性」をもとにキャリア教育を基盤とした学校運営を行い、生徒の資質・能力を育成する取組に力を入れています。今回、医療従事者に感謝の気持ちを伝えようと、標記について休校前に生徒会が発案しました。そして、小学校3校に協力を呼びかけ、休校中に全児童・生徒で折り鶴とメッセージカードの作成を進めました。子ども達は、医療従事者の方々へ感謝や励ましのことばを書きました。

6月5日の「万羽鶴・桜のメッセージ」贈呈式では、4校の代表者が3つの医療機関へ万羽鶴を手渡し、生徒会長が代表して感謝のことばを述べました。「感謝の心」「差別や偏見を許さない心」「協力する心」を育むことを目的としたこのプロジェクトでは、活動を通して団結することの大切さを学ぶとともに、自分たちが成し遂げた大きな成果に、自信と確かな手応えを感じることができました。



医療従事者に感謝しよう!

いわき市立御厩小学校



6年生が仕上げた  
メッセージボード



全校生で折った万羽鶴  
地域の小中学校4校で取  
組み、メッセージと共に医療機関に  
届けました。



ありがとう🙏  
みんなでのりこえよう!

御厩小学校からは、いわき市の医療の中核を担ういわき市医療センターを目の前に臨むことができます。児童は、ドクターヘリの発着も間近に見ています。その他、労災病院、いわき市総合保健センターなど、本校は医療施設が集中している地域に位置しています。そのため、保護者の中には医療従事者が多いという実態があります。そこで、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、日夜頑張っている医療従事者の方々に感謝と励ましの気持ちを伝えようと、児童会が中心となり、メッセージボードを作成し、校舎4階に掲げました。メッセージは6年生が考え、ボードの飾りなどは、低学年児童が担当しました。自分たちの思いを伝えると同時に「自分たちも感染しないように気を付けよう」「偏見や差別のない思いやりの心をもとう」という意識を高めることができました。今、この時だからこそできる大切な学習であると捉えています。

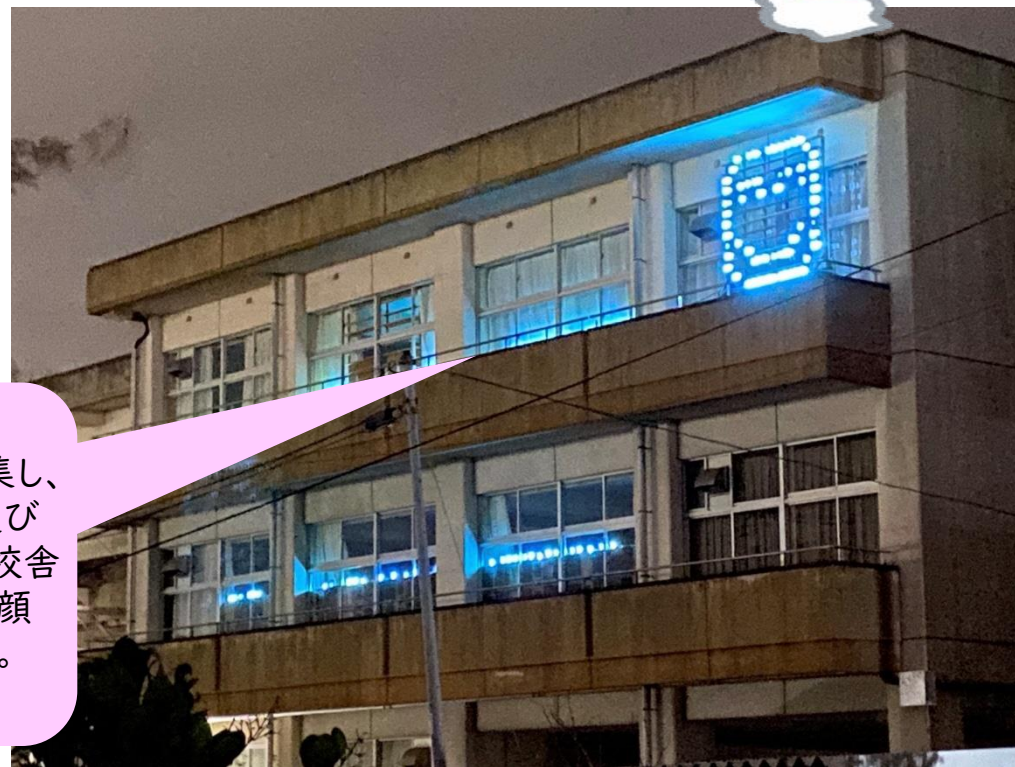


医療従事者や地域の方々にエールを送る「虹色・スマイルプロジェクト」 いわき市立高坂小学校



ゲストティーチャーの先生に、ライトアップするためのLEDライトの作り方を教えてもらいました。

全校生から募集し、デザイン画を選びました。高台の校舎から、地域に笑顔をお届けしています。



内郷第一中学校生徒会の皆さんが企画した「万羽鶴・桜のプロジェクト」に触発され、「自分たちも何か医療従事者や地域の方々に応援したい」という思いが生まれ、校舎をブルーライトアップしてみようというプロジェクト学習が始まりました。

地域各所をライトアップしているNPOの方をゲストティーチャーに迎え、ソーラーパネルで充電し日没後光るLEDライトを4～6年生で約200個作りました。各クラスから募ったプロジェクトチームを中心に、デザイン画を募集したり、地域に届けたいメッセージを考えたりと、学習が広がっています。



万羽鶴・感謝の桜プロジェクトに参加して

いわき市立綴小学校



内郷第一中学校の生徒会の皆様から、「新型コロナウイルス感染症と最前線で戦っている医療従事者の方々に、応援のメッセージを送ろう」と声がかかりました。綴小学校は、全校児童が51名と少ないですが、がんばっている方々を少しでも励ますことができればと思って参加しました。

学校は臨時休業中でしたが、児童一人一人が家で一羽一羽ていねいに鶴を折り、桜の花びらに心のこもったメッセージを書きました。



6月5日に、いわき市総合保健福祉センターで行われた贈呈式には、綴小学校からも6年生の代表が参加しました。

みんなで作り上げた「万羽鶴・感謝の桜」を見た時には、思わず驚きの声を上げてしまったとともに、一日でも早く新型コロナウイルス感染症におびえなくてもよい日々が来てほしいと願いました。

